

平成28年度第6回中仙地域協議会会議録

平成29年 3月16日

中仙地域協議会

平成28年度第6回中仙地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■報告	3
(1)平成28年度地域枠予算実績見込みについて	3
■協議	4
(1)平成29年度地域枠予算執行予定事業について	4
■その他	7
(1)支所各課所管の事務事業について	7
■閉会	10
■署名	10

■日 時：平成29年3月16日（木曜日）午後1時30分

■会 場：中仙農村環境改善センター 農事研修室

■出席委員： 9名

遠藤 まき、草薙 幸隆、熊谷 亮、児玉 誠良、佐々木 正一
高橋 成悦、玉井 勝壽、傳農 富士夫、松塚 勝男

■欠席委員： 9名

秋山 吉雄、秋山 康、高橋 一、佐々木 亨、柴田 真希亜
高橋 泉、高橋 久逸、寺田 文夫、柳田 トシ

■出席職員： 7名

高橋 利省（中仙支所長兼地域活性化推進室長）	草別 真紀子（市民サービス課長）
佐藤 吉一（農林建設課長）	草薙 栄良（中仙公民館長）
渡邊 清彦（農林建設課参事）	山信田 恭弘（地域活性化推進室副主幹）
進藤 哲規（地域活性化推進室主席主査）	

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 報告
(1) 平成28年度地域枠予算実績見込みについて
- 6 協 議
(1) 平成29年度地域枠予算執行予定事業について
- 7 その他
(1) 支所各課所管の事務事業等について
- 8 閉 会

(午後1時30分 開会)

○事務局（地域活性化推進室） 開会を宣言

○傳農中仙地域協議会会長（以下「会長」と表記）

近頃、三寒四温の天気が続き、不安定な状況となっております。昨年の記事を見てみますと、今頃はもう田んぼに雪がないという状況でございました。今朝の新聞では、角館のほうですがまだ積雪が50センチほどあるということで、昨年よりは雪が少ないと報道されておりますが、実際は多いという感じがいたします。市の除雪経費がどのようになっているかはわかりませんが、おそらく昨年よりは少ないのではないかと考えております。

本日は、年度末をひかえまして公私共にご多忙のところご出席いただきまして、ありがとうございます。本日の案件は、地域枠予算と各課からの報告があるようでございますので、どうかご審議くださいますようお願いいたします。

この1年間、このように大過なく過ごさせていただきましたのも、皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。開会にあたり一言ご挨拶申し上げます。

○高橋中仙支所長兼地域活性化推進室長（以下「支所長」と表記）

本日は、ご多忙のところご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。本日の第6回地域協議会では、報告が1件、協議案件は平成29年度地域枠予定事業2件を、また、その他として各課からの報告を予定しておりますので、よろしく願いいたします。審議に入ります前に、中仙支所管内の状況等について報告させていただきます。

始めに、道の駅なかせんの米菓工場跡の活用についてです。もち米加工施設として国の補助を受けていたことから、使用目的を変更する必要がありましたが、このたび農産物加工施設に変更することが認められ、2月10日からおかき製造用の機械設備の撤去工事が始まっております。4月から鍵見内の農業法人「ダイセン創農」が、この建物でトマトやリンゴなどを搾ってジュースなどに加工する事業を行います。稼働は8月の予定です。

次に、人権擁護委員の花津谷環さん（豊川字葛川）が、昨年12月末で任期満了のため退任されました。花津谷さんは平成17年から4期12年務められました。後任には前支所長の足達隆さん（長野字柳田）が就任され、任期は3年です。中仙地域の人権擁護委員は3人で、足達さんと、高畠良市さん（清水字下黒土）、佐々木郁子さん（下鶯野字羽場）になります。

次に、2月24日から明日3月17日まで22日間の会期で市議会第1回定例会が開催されておりますので、市政報告の中からいくつかご紹介します。

1つ目は、公文書館についてです。西仙北地域強首の旧双葉小学校を改修して整備を進めておりましたが、2月末で工事が完了したことから、施設を供用開始するため設置条例を制定します。施設の名称は「大仙市アーカイブズ」として、開館日は5月3日（水）、4日と5日は一般向けの内覧会が行われます。

通常の開館日は翌週5月9日からで、毎週火曜日から土曜日は一般に開放され、企画展示や常設展示なども計画されています。入場は無料です。なお、月曜日は職員のみ利用日となります。

2つ目は、枝豆の生産体制の強化についてです。JA秋田おぼこが、旧中仙営農センター（北長野字蓬田）内に枝豆選別機を導入する事業が、国の「産地パワーアップ事業」に採択される見通しとなり、予算の補正が行われます。JAの事業費は約2億7千万円、市からの補助金はその1/2、約1億3,500万円で、補助金の財源は全額県補助金です。

これにより、生産者の負担となっている「出荷調整作業」を削減し、面積の拡大と新規生産者が取り組みやすい環境づくりを図るとしています。

以上、説明させていただきましたが、委員の皆様には、今後とも様々なご助言やご指導を賜りたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。あいさつとさせていただきます。

○事務局（地域活性化推進室）

それでは協議に入りたいと思います。

本日の協議会は委員の2分の1以上の出席をいただいておりますので、本協議会は成立しますことをご報告いたします。

それでは、会議の進行につきましては条例の規定により傳農会長にお願いいたします。

○会長

それでは次第4の「会議録署名委員の指名」ですが、今回は遠藤まき委員と玉井勝壽委員にお願いいたします。

次に次第5の「報告」に入ります。

「(1)平成28年度地域枠予算実績見込みについて」事務局よりご報告をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

資料に基づき報告。

○会長

ただいま事務局より報告がありました。皆さんから質問などございましたらお願いします。

(なし)

ないようですので、「(1)平成28年度地域枠予算実績見込みについて」を終わります。

次に次第6「(1)平成29年度地域枠予算執行予定事業について」を議題とします。事務局よりご説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

提案事業の説明をさせていただく前に、事務局よりお願いがございます。資料2にございます平成29年度地域枠予算執行予定事業ですが、本日皆さんからご審議いただくのは、平成29年度の地域枠予算を活用させていただき、4月より事業を実施するものになります。大仙市の平成29年度予算につきましては、市の3月定例会に議案として上程されておりまして、明日17日の議会最終日で議決予定となっております。

つきましては、本日は平成29年度予算の執行事業ということで説明させていただいて、ご審議をお願いするものですが、事業の承認につきましては今日現在、平成29年度予算が議決させておりませんので、議決後、文書で承認の可否を提出いただくという流れで進めさせていただきたいと思っております。

それではこれより平成29年度地域枠予算執行予定事業を説明させていただきます。事業は農林建設課が実施します「ジャンボウさぎお披露目事業」と地域活性化推進室が実施する「なかせんコミュニティポイント関連事業」の2件となります。それでは始めに農林建設課長より説明をお願いします。

○佐藤農林建設課長（以下「農林建設課長」と表記）

資料にもとづき説明。

□実施類型Ⅰ型

1. ジャンボウさぎお披露目事業

事業目的 中仙地域の特色となっている秋田改良種日本白色種（通称ジャンボウさぎ）を観光及び特産として発信するため、桜まつりの開催に合わせた「ジャンボウさぎお披露目事業」を実施する。桜まつり期間中、県内外から大勢人が集う道の駅なかせんでふれあいの場を提供することにより、ジャンボウさぎを広く知ってもらおうと同時に10月開催の全国ジャンボウさぎフェスティバルのPRを図る。

事業概要 中仙地域総合畜産振興会小家畜部会員がジャンボウさぎを展示し、ふれあいの場を提供。ジャンボウさぎ及びイベントのPRを実施。

○日時 平成29年4月29日（土）、5月3日（水） 2日間
午前10時～午後3時

○場所 道の駅なかせんイベント広場

○内容 ・ジャンボウさぎ等の展示（8kg以上と3kg以下）
・リニューアルした「デカラビくん」の着ぐるみ披露

事業費 66,276円（賃金・消耗品・賃借料）

○支所長（地域活性化推進室）

資料にもとづき説明。

2. なかせんコミュニティポイント関連事業

事業目的 平成29年度から「なかせんコミュニティポイント」を開催。本年度の「なかせんコミュニティスタンプラリー」の内容に加えて、対象事業を地域団体等に拡大。地域で頑張る活動を住民自らが支える仕組みとして実施する制度。

事業概要 住民の地域活動参加をポイント化。集めたポイントを交換することで特典が得られ、同時に応援したい団体に「にぎわいサポーター」としてポイント寄付。寄付されたポイントは、支援金として地域活動団体に交付される。

<第1回 なかせんコミュニティポイント制度>

○期間 4月から12月（対象事業は4月から10月）

※2回目以降は1月から12月で実施。

○実施主体 なかせんコミュニティポイント制度運営協議会

○対象事業 中仙で行われる地域活動 33事業（予定）

※うち市関連事業除く地域活動 16事業（予定）

○参加対象 中仙地域にお住まいの方

事業費 1,010,444円

（市から制度運営協議会への業務委託により実施）

○会長 ただいま2件の説明が終わりました。はじめに「ジャンボうさぎお披露目事業」について、皆様よりご意見、ご質問を賜ります。

○高橋成悦委員 うさぎの子どもの販売等はそこで行うのでしょうか。

○農林建設課長 このときではありませんが、直接こちらに問い合わせいただければ農家とのやりとりは行っています。時期的なこともあります。順番待ちになっているような状況です。県外などからもほしいという問い合わせがあります。

○高橋成悦委員 この日は問い合わせできないのでしょうか。

○農林建設課長 当日直接お問い合わせいただいても、返事は後日となるかもしれませんが対応はできます。

○松塚勝男委員 同じうさぎでも、この血統をほしいというような要望はあるものでしょうか。

○農林建設課長 優勝したうさぎの子どもというような要望はあり、あっせんはできますが、必ずしも希望がかなうわけではないというのが現状です。

○会長 ほかにございますか。

(なし)

次に2つ目の「なかせんコミュニティポイント関連事業」について、ご意見をお願いいたします。

○草薙幸隆委員 委託料にあるオリジナル賞品というのはどういったものでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室） ポイント寄付による個人特典についてですが、ここもただの賞品ではなく、地域活動をPRするものにしたいと考えています。ですので、今回はドンパン祭り、中でもドンパン娘に関する賞品を作成したいと考えています。

○草薙幸隆委員 前回の協議会でのコミュニティスタンプラリーの説明を受けて、私なりに考えてみたのですが、前回はスタンプカードを配布した1回限りでPRが終わったように思いました。今回は毎月情報を発信するという説明がありましたけれども、28年度は参加者が少なかったなという感想を個人的に持ちましたので、そのへんなにか、29年度は改善される点があるでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室） 28年度はスタンプラリー形式で行いました。行っていく中で、参加者の人数を把握できないなどの課題ができました。中でもスタンプカードの持参が前提のラリーのため、カードを忘れてきて参加できず途中でやめてしまうといった方が見られました。これをふまえて今回はポイントカードを参加された方に配布するという方法にしました。これであれば配布した枚数で参加者を把握できますし、カード持参といった参加条件ありませんので最後まで参加していただけるのではないかと考えています。PR方法についても回数や方法を工夫して、多くの住民の方に参加いただけるようにしたいと考えています。

○草薙幸隆委員 私も去年はカードを忘れてしまいスタンプが押せないということで、最終的にはカードを提出しませんでした。あと、PRについてですが、FMはなびで「市役所からのお知らせ」というコーナーがありますので、こういったものを活用していけばチラシだけよりも効果があるのではないかと思います。

○玉井勝壽委員 参加者が中仙にお住まいの方というように限定されていますが、特にドンパン祭りなどは中仙以外からも参加者があると思います。このへんの区分けについてはどう考えているのでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室） 表向きは中仙地域が独自に実施する事業ということで、このように記載していますが、実際に活動の主催者がポイントカードを配布する際は、そこまでの確認はできませんので、参加した方に配布ということになると思います。

○支所長 この事業は、地域ごとに行う「地域の魅力再発見事業」ということで、このコミュニティポイント制度も中仙地域のオリジナル事業となります。こういった関係で基本的には中仙地域の住民が参加者ですよということにしておりますが、地域外の方であってもポイントを集めたり、応援したい活動に寄付したりといったことはお受けする予定です。ですので、地域住民かどうかといった線引きは考えていません。

○草薙幸隆委員 事業内容的には問題ないということですね。

○支所長 あまり積極的にはPRできない事情はありますが、問題はありません。

○草薙幸隆委員 前は「中仙地域の人だけですよ」というのを強調しすぎたような気がします。

○会長 ほかにございませんか。

（なし）

先ほど事務局からご連絡がありましたが、通常であれば皆さんからご承認いただくところですが、議会開催中ですので、議決後、文章により承認をお願いするものです。

以上で「平成29年度地域枠予算執行予定事業について」を終わります。

次に次第7「その他」に移ります。

「(1) 支所各課所館の事務事業等について」説明をお願いします。

○支所長（地域活性化推進室）

草別市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

農林建設課長

草薙中仙公民館長（以下「公民館長」と表記）

資料に基づき説明。

○会長 ただいまのご説明に関して、ご意見・ご質問お願いいたします。

○草薙幸隆委員 資料にないことですが、昨年から舗装の機械を中仙にいれて行っていると思いますが、春先早々に舗装されたものが既にはがれてきている所があります。いつまでたっても中仙地域は穴だらけという印象なのですが、なにか対策はあるものでしょうか。

○農林建設課長 雪があるうちは隠れて見えませんが、雪が溶けてくるとどんどん穴が増えていっているのが現状です。本当であれば50年近く経過している道路なので、打ちかえをすれば一番いいのですが、予算的に難しいというのが実際です。主要道路については、補助事業を使って打ちかえをする予定です。主要道路でない所についてはパッチングで対応しています。ただ、やってもやってもすぐはがれてしまうということがあります。こちら補助事業が使えないかということを検討していきたいと思います。

今、3月に前倒しで補修を発注しています。本当に危険な所については対応しますので皆さんからも情報をいただければと思います。

○遠藤まき委員 関連してですが、中学生が4月から自転車通学に入りますので、通学路だけでも早々に穴埋めをお願いします。明るいうちはいいですが、暗くなると穴に落ちたという話が聞こえてきますので、子ども達の安全を確保していただきたいと思います。

○農林建設課長 情報があればすぐに対応したいと思います。車は大丈夫でも自転車だと危険という穴もありますので情報提供をお願いします。

○高橋成悦委員 自転車通学の子ども達にヘルメット着用という考えはないのでしょうか。

○草薙幸隆委員 私は交通安全のほうに関わっているのですが、ヘルメットをかぶっている学校は、かぶっていることによって問題があるらしく、一律に全員に着用とはなっていないようです。

○松塚勝男委員 舗装の関係ですが、現在の舗装の方法が昔と変わらないような気がします。この分野について技術の向上のようなものはないのでしょうか。もっと丈夫になるような。

○佐々木正一委員 予算の関係だと思います。首都圏等で行われている舗装はこちらとは材料が違います。技術そのものも上がっていると思います。

○農林建設課長 こちらでも材料、技術は向上していると思います。ただあくまで緊急対応を目的としたものですので、それほどの耐久性はないということです。本当のアスファルトを使ったほうが材料費的には安価ですが、その分技術料が高くなるのでなかなかできないというのが現状です。

○児玉誠良委員 高齢者対応、乗り合いタクシーについてですが、昨年4月1日より杉沢からデマンド方式での運行を行っています。このタクシーの停留所、旗が立っているところが9ヶ所あります。今、問題になっているのが、駅前内科さんのほうから停留所を設けられないかという要望がでています。利用者の方は長野駅前で降りて、歩道橋を越えて駅前内科に行く。帰りもまた歩道橋を越えてということになります。

また、現在、杉沢、長持沢、立石の3つの停留所からは八乙女温泉に行くことができますが、八乙女温泉以降の停留所からは八乙女温泉に行けないことになっております。この点をなんとかならないかという話もでてきています。

料金については1名500円、2名以上からは400円となります。また、免許返納者については250円で利用できます。

○支所長 ただいまのご意見・ご要望は、駅前内科のほうに停留所が作れないかということと、もう少し乗り降りが柔軟にできないかということによろしいでしょうか。

○児玉誠良委員 加えて、できましたら極楽野地区にも停留所があればいいと思います。

○会長 ほかにございませんか。

○草薙幸隆委員 消防団のことで、消防団の統合の話がありましたが、豊川の消防団に聞きましたら、家の前にポンプ小屋があるのですが、もうすぐなくなるような話でした。どのような形で決まっているのでしょうか。

○市民サービス課長 ポンプ小屋については消防団におまかせしていますが、自主防災組織から要望があれば、消防団のほうに要望したいと思います。全体に要望を聞いてからの対応になるので少し時間がかかりますが消防団のほうと調整したいと思います。

○会長 ほかにございませんか。

桜保全事業を実施中ということですが、状況はどうでしょうか。八乙女山に鶯やテング巣病がついているのでしょうか。

○農林建設課長 鶯については、だいぶ来ていてかなり駆除したようです。

○草薙幸隆委員 関連してですが、桜まつりについては相談は既にされているものでしょうか。先日、桜予報がでて、4月の20日頃となっていました。今年の桜まつりの期間はもう決まっているものでしょうか。

○市民サービス課長 桜まつりについては、4月中旬から5月5日までで実施する予定です。

す。現在はポスター等の準備を行っています。

○草薙幸隆委員　だとすれば早く咲いても問題ないということですね。

○会長　ほかにごいませんか。

(なし)

それでは「支所各課所管の事務事業等について」を終わります。

ここで、第3期地域協議会委員（第4期再任委員を除く）に支所長よりお礼状が渡されました。

○会長　長時間にわたり皆さんよりご審議いただき、ありがとうございました。ただいま支所長のお話にもあり、私事でございますが、平成17年より3期12年間、協議会の会長として皆さんにお世話になりました。本当に感謝申し上げたいと思います。この度の改選にあたりまして引退することになりましたが、皆さんの長年のご協力に感謝申し上げます。

常に申し上げておりましたが、皆さんは地域の代表、あるいは団体の代表ですので、その重責を感じ協議会にのぞんでいただきたいと思います。考えてみますと、1年間のうちに1回ないしはまったく出席されない委員もたくさんおりました。いつも成立ぎりぎりの人数での開催ですが、ぜひご出席いただきたいと思います。協議会の今後益々のご発展と皆さんのご健勝を祈念し、退任のあいさついたします。ありがとうございました。

これをもちまして、平成28年度第6回中仙地域協議会を終了いたします。お疲れ様でした。

(午後2時50分 閉会)

中仙地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

